

盛岡市の水資源を教材とし、水に関わって生活したり仕事をしたりしている人々の工夫や思いについて学ぶことを通して、身近な地域への愛着を育む学習

日 時 9月30日(木) 5校時

対 象 5年 男子31名女子22名計53名

指導者 小原 竜二 千田 典子

場 所 多目的教室

盛岡水物語② 水は盛岡の宝物

水とともに生きる人々 - 5年-

<本単元のねらい>

感じる力

ねらい

- ・盛岡には清水があることや水に関わって仕事や活動をしている方々がいることに気付き、盛岡の水について興味関心をもつ。
- ・盛岡の自然の豊かさ、水資源の恵み、人々の努力、自分のすべきことに気付く。

実態

- ・様々な地域学習や中津川の学習を通して、盛岡の自然のよさやすばらしさに気付き始めている。
- ・身近な自然を大切に思う気持ちが高まってきている。

考える力

ねらい

- ・盛岡が水に恵まれているといえる根拠を予想し、それを検証するための調査内容やインタビュー内容を考える。
- ・盛岡の水の恵みや水環境の大切さを事実や根拠をもとに考える。

実態

- ・問題解決に必要な情報の集め方や資料の効果的な活用の仕方が身に付いてきてはいるが、十分とはいえない。
- ・課題からそれずに自分たちで考え学習する力が付いてきている。

<実感をもたせる工夫>

- ・地域にいる水に関わる仕事をする人に直接聞き取り調査をしたり、ゲストティーチャーから話を聞いたりすることによって、盛岡が水に恵まれていることを理解させるとともに、人々の工夫や努力、願い等にも気付かせる。
- ・調査したことや調査後の交流会で、水の恵みについて多面的にとらえたり、比較、関連付けたりすることによって、必要なことを選択して、自分なりに水の恵みについて検証できるようにする。

かかわり合う力

ねらい

- ・自分の予想や仮説に沿った質問内容や話を聞くポイントを考えて、盛岡の水に携わっている方から話を聞き、学びを深める。
- ・自分の考えを深め広げることを意識しながら、調べたことや考えたことを友達と交流する。

実態

- ・友達と学び合う意欲や仕方は身に付いてきているが、学び合いながら、自分の考えを深め広げる力は十分ではない。
- ・ゲストティーチャーの話をメモをとりながら前向きに聞こうとする姿勢ができてきている。

表す力

ねらい

- ・目的や内容を明確にして質問したり聞き返したり感想を述べたりする。
- ・自分で調べたことや考えを資料や説明を加えてわかりやすく発表し、友達の発表に質問や意見、感想を出したりする。

実態

- ・質問が単発で、答えに対してさらに関連付けた質問をする児童は少ない。
- ・発信しようとする意欲はあるが、相手を意識したり、多様な方法で発信したりする力は十分ではない。

段階	主たる活動	指導の手立て
(2) 課題をもつ	○『盛岡ブランド宣言』を読み、「清らかな水の恵み」に着目し、それが何を表わしているか考え学習テーマをもつ。 「盛岡市が水に恵まれているということを確認しよう」 ○単元全体の学習計画を立てる。	・一つの資料から児童の興味・関心を引き出すために、ウェビングマップを活用し、少人数グループで話し合いをさせる。
調べる① (8) 本時4/8	○グループ毎に資料調査をする。(2) ・豆腐屋・酒造屋・蕎麦屋・染物屋 ○実地・聞き取り調査の見通しと自分の考え(見学内容・質問内容)をもつ。(1)	・調査の目的や内容を明確にさせる。 ・図書資料、新聞、Web資料等を活用させる。
	○グループで実地・聞き取り調査の計画を立てる(1) 本時	
	<p>本時のねらい グループで調査の目的を明確にして、見学内容や質問内容を考える。(考える力)</p> <p style="text-align: center;"><課題> グループで見学内容や質問内容を考えよう。</p> <p>1. 本時の課題と視点を確認める。 ポイント ・それを聞くこと(見ること)で課題の解決になるか。 ・答えてもらいたいことが、相手に分かるか。</p> <p>2. 小グループ毎に話し合う。 3. 同じ見学先グループで交流し合う。 4. 本時をふり返る。</p>	
	○実地・聞き取り調査をする。(3) ○グループごとに調べたことをまとめ、全体で交流する。(1)	・調べたい所へ出かけ、そこで働いたり生活をしていたりしている人々の話を聞くことにより、人々の水に対する思いや願いに気付かせる。 ・調べたことを目的、相手を意識しながら効果的な方法でまとめ、交流させる。
② 調べる (4)	○盛岡の「清水」について資料調査をする。 ○「清水」の実地調査をする。	・調査内容を明確にして調べる。 ・資料調査の結果と比べながら見たり触れたりして調べさせる。
③ 調べる (3)	○盛岡の水道について資料調査をする。 ○水道局の方から話を聞き、調べたことを確かなものにする。	・調べ、整理したことをさらに裏付けるために、水道局の方に話を聞く機会をもつ。 ・今まで学習してきたことと関連付けながら話を聞かせる。
(2) まとめる	○テーマについてまとめる。 ○発信の準備や練習をする。 ○学年発表会で発表する。	・「水に恵まれている」とはどういうことなのかを考えまとめさせる。 ・恵まれている状況・環境を自分のこととして考えさせる。
(9) 発信する	○発信の計画を立てる。 ○計画にしたがって発信する。	・相手意識を予めもたせながら計画を立てさせる。 ・盛岡の水のすばらしさ、守り続ける価値、自分にできることを意識させ、発信させる。
(2) 自分を見つめる	○ふり返りをし、自分や友達の成長を認め合う。	・自分の学習の軌跡と成長を見つめさせ、それを交流してお互いの成長を認め合わせる。